

研究会のご案内

歯科会員
スタッフ
対象

歯科臨床研究会 PATIENT FIRST 高齢義歯患者では 患者さんの慣れを尊重しよう



義歯製作にあたり患者さんの慣れを活かそうという趣旨で、複製義歯—義歯と慣れ—を初めて発表してから38年が経ちました。以来、複製義歯用のフラスコ、機能印象をとるためのフィットソフター、軟質ラインも数々、研究、市販してきました。

この術式は息長く続いていましたが、単行本としては30年ぶりに復刻されました。変化めまぐるしい歯科界において30年ぶりの復刻出版は異例のことです。

高齢化が進み、さらには口腔ケアの意識の高まりで、歯を失う方は減り、義歯を必要とされる方は高齢になってからで、総合的に見て、義歯の製作もたやすくはありません。多様な患者さんに対応するには、画一的な理論や術式は当てはまりません。

複製の手順は簡単です。一番大事なのは、現義歯の改良点を見抜き、改良修正することができるかどうかです。

講師 濱田 泰三 先生

元東北大学教授、広島大学名誉教授、
日本義歯ケア学会理事長



—濱田泰三先生のご略歴—

1969年大阪大学卒業、歯科医師。1973年大阪大学大学院修了、歯学博士。1973年広島大学に着任、助手、講師、助教授を経て1981年広島大学教授。2008年広島大学定年退職、名誉教授。2008年東北大学教授、2012年退任より客員教授。2015年より同大学教育研究支援員。

7月1日(日) 10:00~12:00

広島グランドインテリジェントホテル2F芙蓉

【対象】 会員・スタッフ>>>参加費無料 ●未入会の方は、同時ご入会で、無料にてご参加いただけます。

お申込みはFAXまたはお電話で 広島県保険医協会 FAX082-262-5427
TEL082-262-5424

参加連絡票

歯科臨床研究会
PATIENT FIRST 高齢義歯患者では患者さんの慣れを尊重しよう

質問などありましたら、事前にお寄せください。

参加予定 [] 名

医療機関名

連絡先電話番号

歯科医師名